

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和1年7月4日(2019.7.4)

【公開番号】特開2018-104710(P2018-104710A)

【公開日】平成30年7月5日(2018.7.5)

【年通号数】公開・登録公報2018-025

【出願番号】特願2018-13026(P2018-13026)

【国際特許分類】

C 09 J	7/20	(2018.01)
C 09 J	201/00	(2006.01)
C 09 J	11/06	(2006.01)
C 09 J	175/04	(2006.01)
C 09 J	133/00	(2006.01)
C 09 J	121/00	(2006.01)
C 09 J	183/04	(2006.01)
B 32 B	27/00	(2006.01)
B 32 B	27/40	(2006.01)

【F I】

C 09 J	7/02	Z
C 09 J	201/00	
C 09 J	11/06	
C 09 J	175/04	
C 09 J	133/00	
C 09 J	121/00	
C 09 J	183/04	
B 32 B	27/00	M
B 32 B	27/40	

【手続補正書】

【提出日】令和1年6月3日(2019.6.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

粘着剤層を有する表面保護フィルムであつて、

該粘着剤層に厚み25μmのポリエチレンテレフタレートフィルムを貼り合せ、23で30分後に、該ポリエチレンテレフタレートフィルムを、剥離角度180度、剥離速度6000mm/分において剥がした際の剥離力が0.08N/25mm以下であり、

該粘着剤層を構成する粘着剤が粘着剤組成物から形成され、

該粘着剤組成物が、ベースポリマーと、シリコーン系添加剤および/またはフッ素系添加剤とを含み、

該ベースポリマーがウレタンプレポリマーであり、

該シリコーン系添加剤が、水酸基含有シリコーン系化合物、架橋性官能基含有シリコーン系化合物から選ばれる少なくとも1種であり、

該フッ素系添加剤が、フルオロ脂肪族炭化水素骨格を有する化合物、有機化合物とフッ素化合物を共重合したフッ素含有有機化合物、水酸基含有フッ素化合物、架橋性官能基含

有フッ素系化合物から選ばれる少なくとも1種であり、

該粘着剤組成物中の該シリコーン系添加剤および／または該フッ素系添加剤の含有量が、該ベースポリマー100重量部に対する、該シリコーン系添加剤と該フッ素系添加剤の合計量として、0.01重量部～50重量部である、

表面保護フィルム。

【請求項2】

前記粘着剤層に厚み25μmのポリエチレンテレフタレートフィルムを貼り合せ、23で30分後に、該ポリエチレンテレフタレートフィルムを、剥離角度180度、剥離速度300mm／分において剥がした際の剥離力が0.02N／25mm以下である、請求項1に記載の表面保護フィルム。

【請求項3】

粘着剤層を有する表面保護フィルムであって、

該粘着剤層に厚み25μmのポリエチレンテレフタレートフィルムを貼り合せ、80で7日間後に、該ポリエチレンテレフタレートフィルムを、剥離角度180度、剥離速度6000mm／分において剥がした際の剥離力が0.35N／25mm以下あり、

該粘着剤層を構成する粘着剤が粘着剤組成物から形成され、

該粘着剤組成物が、ベースポリマーと、シリコーン系添加剤および／またはフッ素系添加剤とを含み、

該ベースポリマーがウレタンプレポリマーであり、

該シリコーン系添加剤が、水酸基含有シリコーン系化合物、架橋性官能基含有シリコーン系化合物から選ばれる少なくとも1種であり、

該フッ素系添加剤が、フルオロ脂肪族炭化水素骨格を有する化合物、有機化合物とフッ素化合物を共重合したフッ素含有有機化合物、水酸基含有フッ素化合物、架橋性官能基含有フッ素系化合物から選ばれる少なくとも1種であり、

該粘着剤組成物中の該シリコーン系添加剤および／または該フッ素系添加剤の含有量が、該ベースポリマー100重量部に対する、該シリコーン系添加剤と該フッ素系添加剤の合計量として、0.01重量部～50重量部である、

表面保護フィルム。

【請求項4】

前記粘着剤層に厚み25μmのポリエチレンテレフタレートフィルムを貼り合せ、80で7日間後に、該ポリエチレンテレフタレートフィルムを、剥離角度180度、剥離速度300mm／分において剥がした際の剥離力が0.07N／25mm以下である、請求項3に記載の表面保護フィルム。

【請求項5】

粘着剤層を有する表面保護フィルムであって、

該粘着剤層に厚み1000μmのガラス板を貼り合せ、23で30分後に、該ガラス板から、剥離角度180度、剥離速度6000mm／分において剥がした際の剥離力が0.135N／25mm以下あり、

該粘着剤層を構成する粘着剤が粘着剤組成物から形成され、

該粘着剤組成物が、ベースポリマーと、シリコーン系添加剤および／またはフッ素系添加剤とを含み、

該ベースポリマーがウレタンプレポリマーであり、

該シリコーン系添加剤が、水酸基含有シリコーン系化合物、架橋性官能基含有シリコーン系化合物から選ばれる少なくとも1種であり、

該フッ素系添加剤が、フルオロ脂肪族炭化水素骨格を有する化合物、有機化合物とフッ素化合物を共重合したフッ素含有有機化合物、水酸基含有フッ素化合物、架橋性官能基含有フッ素系化合物から選ばれる少なくとも1種であり、

該粘着剤組成物中の該シリコーン系添加剤および／または該フッ素系添加剤の含有量が、該ベースポリマー100重量部に対する、該シリコーン系添加剤と該フッ素系添加剤の合計量として、0.01重量部～50重量部である、

表面保護フィルム。

【請求項 6】

前記粘着剤層に厚み $1\,0\,0\,0\,\mu m$ のガラス板を貼り合せ、23で30分後に、該ガラス板から、剥離角度180度、剥離速度 $3\,0\,0\,mm/min$ において剥がした際の剥離力が0.023N/ $2\,5\,mm$ 以下である、請求項5に記載の表面保護フィルム。

【請求項 7】

粘着剤層を有する表面保護フィルムであって、

該粘着剤層に厚み $1\,0\,0\,0\,\mu m$ のガラス板を貼り合せ、80で7日間後に、該ガラス板から、剥離角度180度、剥離速度 $6\,0\,0\,0\,mm/min$ において剥がした際の剥離力が0.35N/ $2\,5\,mm$ 以下であり、

該粘着剤層を構成する粘着剤が粘着剤組成物から形成され、

該粘着剤組成物が、ベースポリマーと、シリコーン系添加剤および/またはフッ素系添加剤とを含み、

該ベースポリマーがウレタンプレポリマーであり、

該シリコーン系添加剤が、水酸基含有シリコーン系化合物、架橋性官能基含有シリコーン系化合物から選ばれる少なくとも1種であり、

該フッ素系添加剤が、フルオロ脂肪族炭化水素骨格を有する化合物、有機化合物とフッ素化合物を共重合したフッ素含有有機化合物、水酸基含有フッ素化合物、架橋性官能基含有フッ素系化合物から選ばれる少なくとも1種であり、

該粘着剤組成物中の該シリコーン系添加剤および/または該フッ素系添加剤の含有量が、該ベースポリマー100重量部に対する、該シリコーン系添加剤と該フッ素系添加剤の合計量として、0.01重量部~50重量部である、

表面保護フィルム。

【請求項 8】

前記粘着剤層に厚み $1\,0\,0\,0\,\mu m$ のガラス板を貼り合せ、80で7日間後に、該ガラス板から、剥離角度180度、剥離速度 $3\,0\,0\,mm/min$ において剥がした際の剥離力が0.05N/ $2\,5\,mm$ 以下である、請求項7に記載の表面保護フィルム。

【請求項 9】

残存接着率が50%以上である、請求項1から8までのいずれかに記載の表面保護フィルム。

【請求項 10】

前記粘着剤組成物が脂肪酸エステルを含む、請求項1から9までのいずれかに記載の表面保護フィルム。

【請求項 11】

請求項1から10までのいずれかに記載の表面保護フィルムが貼着された光学部材。

【請求項 12】

請求項1から10までのいずれかに記載の表面保護フィルムが貼着された電子部材。